

Trait d'union

トレデュニオン

VOL. **49**
2015-8



- 海外展から読む 2015～16年秋冬シューズトレンド 2-5
- シューフィッター補習講座 (東日本支部)
「高齢者の転倒リスクとは」—後編— 6-11
- シューフィッター補習講座 (東日本支部)
工場見学バスツアー 12-17
- 第18回定時総会概要報告 18
- 平成27年度各部会事業計画 19
- 事務局便り 20



足と靴と健康を考える
シューフィッターの
小さな奇跡

FHAにて好評発売中!!



一般社団法人 **足と靴と健康協議会**
FOOT, FOOTWEAR AND HEALTH ASSOCIATION

トレンドの変化には乏しいシーズン 見えてきたロングブーツ復活の気運

(株) ジャルフィック チーフエディター 岡村 嘉子

2015年2月中旬から3月上旬にかけて、2015-16年秋冬シーズンに向けたシューズやバッグの国際的な展示会が開催されました。イタリア・ミラノで行われる世界最大のシューズの見本市・ミカムはこれまでよりも2週間以上早いスケジュール（2月15日～18日）へと変更されました。世界中からバイヤーが集まるミラノファッションウィークとはスケジュールがずれたこと、ロシアやウクライナ等の地域からの集客力の低下などを要因に、海外のバイヤーは約10%減少。一方で、久しぶりにイタリア国内のバイヤーの増加が見られました。

今シーズンの大きな傾向としては、スニーカートレンドの継続、そしてその影響を受けたカジュアルシューズの台頭が挙げられます。また、ここ数シーズン不調のロングブーツに復興の兆しが見えたことも話題となりました。

ここではミカムを中心に浮上する、次シーズンのトレンドをレポートします。

スポーティー傾向の継続。ロングブーツにも復活の兆し

スニーカーを象徴としたスポーティーテイスト、あるいはメンズシューズをレディース仕様に落とし込んだようなマニッシュテイストが継続し、今シーズンはこれらのトレンドが普遍化する過程にあると言えるでしょう。スニーカーそのもののデザインのバリエーションが増えているのはもちろん、ソールや素材などにスニーカー的な要素を取り込んだマニッシュなカジュアルシューズや、スポーティーなパンプスの開発などが盛んに行われています。

スニーカーではクリーンな印象のコートタイプ（テニスシューズタイプ）が新たなトレンドとして浮上。この現象はすでに市場においても見られます。これでスニーカーの種類はほぼ出揃ったと言えるのではないのでしょうか。当然のことながら今後はさらに、スニーカーと革靴の中間領域が、新たなコンセプトとデザイン性によって開発されていくこととなります。

また今季のもうひとつの大きなニュースとし

て挙げられるのがロングブーツの復活です。

ロングブーツのデザイン自体に特別な新規性があるわけではありませんが、“ミモレ丈”を代表にスカートの丈が長くなっていること、あるいは70年代というファッショントレンドへの注目を考えても、時代の気分としてはロングブーツへの期待が高まります。そのため、洋服とのコーディネートによってファッション性を訴求する業態のバイヤーにとっては必須のアイテムとなったようです。展示会では特に60-70年代の雰囲気を感じさせるスクエアトゥタイプや久しぶりに登場したストレッチブーツに新鮮さを感じました。

しかしながら、現在市場を先導しているのは、快適性が高く価格的にもこなれているスニーカー。日本の現在の市況やファッションの変化に対する欲求が弱まっている市場を考えると、ロングブーツの復活には、もう少し時間を要するというのが実情なのではないのでしょうか。

1. FORM & ITEM

「70年代トレンドを背景にスクエアトゥが拡大化」

アイテムとしてはスニーカーに引き続き注目が集まります。継続して人気のスリッポンタイプに加え、新たなトレンドとしてシンプルなコートタイプが浮上。また、市場にすでに定着しているマニッシュシューズとの融合も進み、革靴とスニーカーの中間的なデザインが多く見られるようになっていきます。

ブーツは、ロングタイプではタイトなストレッチブーツが新鮮に映り、ショートタイプとしてはサイドゴアに加えジョトパーやウエスタン風などが新たに登場しています。特に後者はそのクラフト感やフォークロアイメージによって、トレンド感のあるアイテムとして映ります。

トゥラインとしては、スクエアトゥがパンプスやカッターからブーツにまで拡大化している点に注目が集まります。しかし現実には、スクエアトゥのパンプスが一般化するのはまだ難しいとの声が多く聞こえました。ファッション感度の高い層に対してはもちろん新規性の高いアイテムとして重要となりますが、その特徴的なシルエットがエレガンステイストを好むコンサバ層には受け入れ難いのではないかという意見です。

一方カジュアルなブーツでは、このスクエアなトゥラインが70年代の雰囲気を漂わせる格好のシルエットをつくり出しており、市場との親和性も高いアイテムとして印象づけられました。



クリーンなコートタイプのスニーカー。
ハトメのゴールドがポイント



サイドゴアによりストレッチブーツのような雰囲気を出した
ロングブーツ



スニーカー用のオープンソールに
エンジニアブーツ風のアップパー



スクエアトゥが新鮮なショートブーツ。
トゥ先にだけ黒を加える

2. MATERIAL & COLOR

「多様な輝き素材。秋冬の白に注目」

マテリアルはさらに多様化が推し進められています。ベーシックなものとしては、艶が美しいエナメルや硬質感のあるガラスレザーが、“よそ行き感”を演出する品のある素材として継続しています。またその一方で、ヌバックやスエード、床ペロア、ラバーコートを施したレザーといったマットな質感も新鮮に映ります。タッチに独特の表情を持つこれらの素材は、スニーカーに洗練された大人の雰囲気を持ち込むのに貢献しています。

そして特に多いのが、ゴールドやシルバーのミラーレザー、あるいはグリッターやアドバン調のメタリックといった輝き素材。これらはカジュアルなアイテムに用いられることで、視覚

的インパクトによるモード感を創出します。また同様の存在感を持つものとしては、美しい色やプリントをまとったヘアードカウが挙げられます。一方で、スポーティー傾向からナイロンメッシュやネオプレーンといった素材も登場。これらはスニーカー以外のアイテムへ使用や、ハイテク感のあるプリントなどを纏うことで新たなイメージをつくり出しています。

カラーとしては、スニーカーに親しんでいる市場をひとつの要因に、秋冬ながら白が大きな力を持ちます。その他にグレー～トープが新定番色としての勢いを見せます。アクセントカラーとしては、ブルー、パープル、レッドなどに注目が集まります。



ちらちらとした輝きが魅力のグリッター素材。
カジュアルなアイテムにモード感をプラス



ネオプレーンにシリコンプリントを施した素材がユニーク



ヘアードカウにプリントを施したグラフィカル素材。
インパクトのある華やかさ



秋冬シーズンながらクリーンな白の提案は多い。
スニーカー感覚でこなす

3. DETAIL & ORNAMENTATION

「ディテールデザインのモダンな装飾効果」

シンプルなデザイン傾向の中で、華やかな装飾というのはあまり見られません。その一方で、ひとひねり加えられたようなディテールデザインが新鮮な装飾効果を発揮しています。例えばサイドゴアのさまざまなカッティング、特徴的なベルトやストラップ、羽根部分や全体のフォルムを強調する極太のパイピングなどが挙げられます。いずれも直線や曲線による視覚効果をもたらし、今にふさわしいモダンさを感じさせます。

その他には、ゴールドのメタルアクセサリーが依然として大きな存在感を漂わせます。ジッ

プやバックル、ビット、ブーツに施されたチャームなどに加え、スニーカーのハトメとしてもゴールドが新鮮に映ります。ただし、そのボリュームに関しては控え目な方が今の雰囲気合っているようです。

また、新たな傾向として浮上しているのが、手仕事感のある装飾。かがりステッチやフリンジといったような、しばらく見なかったクラフト的な装飾が新たなデザインで展開され、再び注目が集まっています。これは次のシーズンにも繋がる新しい流れと捉えることができます。



変形モンクストラップといった趣のベルトディテール



斜めに施されたシャープな印象のフリンジとメッシュ



懐かしさと新鮮さを感じるビット



レザーのかがりステッチをアクセサリーに



岡村 嘉子 (おかむらよしこ)

大学卒業後、ジャルフィックに入社。新業態研究誌「Zerohour」の編集に携わり、衣・食・住・遊にわたるさまざまな新概念ショップの取材・執筆を経験する。現在はシューズ&バッグに関する機関誌「JALFIC」の企画・編集及び、トレンドセミナーや海外見本市レポートセミナーなどで講演を行なう。流行色情報センター (JAFCA) が発行する「流行色」にもシューズ&バッグトレンドについて執筆中。

「高齢者の転倒リスクとは」 —後編—

～気をつけるべき疾患と歩行のサイン～

前編は転倒のメカニズムを中心にご紹介しました。後編では転倒しやすいかどうかを見抜くサインと、高齢者に必要なサポートや、靴に期待する役割をご紹介していきたいと思います。まずは、軽く前回のおさらいから始めます。

講師 豊岡 毅 西川整形外科 リハビリテーション部 副部長 理学療法士



理学療法士とは・・・

- 日常生活と身体活動・運動を治療、改善、サポートする専門家です
- Physical therapist:PT

右のスライドは転倒の原因を要因ごとに分類したものです。大きく分けて、左側には個人に転倒の原因があるもの（体力低下や注意力散漫など）で、これらを内的因子と呼び、周囲の環境に転倒の原因があるもの（障害物や滑りやすい床など）を外的因子と呼びます。



内的因子はさらに身体要因と認知・心理要因に分類されます。身体要因には身体をイメージ通りに動かすことができる協調性や、スライドのように、転びそうになった時に、体を支えられる筋力、大きく手足を動かすことができる柔軟性などが含まれます。これらは主に運動によって改善され、不活動になると年々自然に低下してしまう能力です。

身体要因とは？

- 協調性：バランスを保つことや体をスムーズに動かす能力ともいわれる
➡ □ 思った通りに体をコントロールできる能力
- 筋力：最大筋力と持久力と瞬発力
➡ □ 転びそうになったとき、とっさに体を支えられる能力
- 持久力：心肺機能が限界に近づくと集中力も切れて・・・
- 柔軟性：体が柔らかい方が転びにくい

一方、外的因子は環境要因と課題要因に分類されます。環境要因には目に見えない段差や布団などの障害物の他、みなさんが扱う履物などもここに分類されます。意外にも転倒は室内で発生することが多く、目に見えない段差や障害物の方がリスクファクターになっていることが多いです。

歩行は転倒と表裏一体とされています。その原因は、支持基底面と重心の関係にあります。ドミノは倒れようとする力を利用して前に前に進みますが、歩くときも一緒です。身体を前に倒しながら、すぐに次の足を出して支えて、その足もまた勢いを殺さずに身体を前に倒していきます。つまり、転びそうで転ばないのが歩行です。

支持基底面とは、重力に対して身体を支えてくれている部分のことを呼びます。例えば、杖を両手に持って、両足で立っていると、この4点で囲まれた部分が支持基底面になります。杖を持たずに両足で立つと、極端に面積が狭くなります。そして、両足を狭めると、面積もさらに狭くなり、バランスを崩しやすくなります。

右のスライドは、前の人を後ろの人が後ろへ引っ張っている写真です。頑張らなければ、体は簡単に後ろへ倒れてしまいますね。両足で立っていると、前後にバランスを崩しやすい状態です。この時、前に押されても、比較的踏ん張れます。それは足の趾が地面を抑えてくれるからです。踵にはこれが出来ません。

環境要因とは？

- 床や路面の状態: アイススケートやローラースケート
- 障害物: 岩のような大きな段差だけではなく、絨毯の端や布団につまづくことも。。
- 段差: 階段だけではなく、ほんの1-2センチの段差でも。
➡ 視覚で認知できないくらいの方がリスクが高い
- 履物: スリッパ、厚底ブーツ、高下駄、地下足袋、どれが安全でしょう？

歩行は転倒と表裏一体



- 支持基底面から重心が外れてころんでしまう
- 転びそうになる力を利用して進んでいく


歩き方と安定性





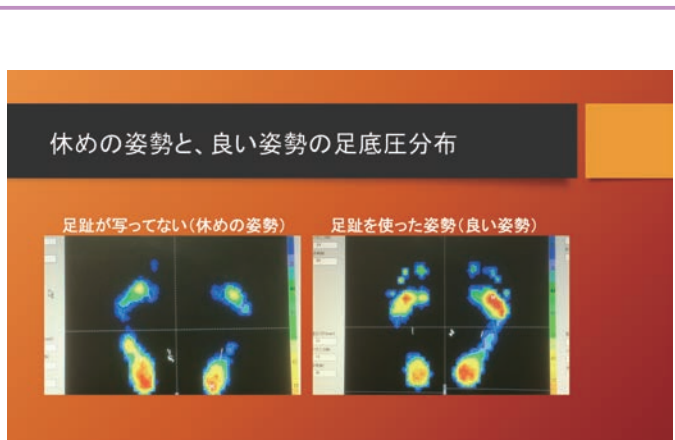

犬と杖を持つ人から椅子へ、杖を持つ人と三脚への変換を示す矢印。

試しに立ったまま前と後ろへ引っ張られて頑張ってみましょう！！



後ろの人が立って、前の人が耐えてください

しかし、足趾はいつでも身体を支えてくれるとは限りません。右のスライドは、圧力センサーの上に両足で立ってもらった時の写真です。向かって左側の画像には足趾があまり写っていません。休めの姿勢を取ると、体重は踵へ移動し、足趾をあまり使わなくなります。逆に右側のように頑張っ



て立つときは足趾がしっかり写ります。先ほど、支持基底面から重心が外れると転倒する、とお話しました。それでは、足部は全て支持基底面なのでしょうか？



答えはNo！です。足部を構成する骨は靭帯によって積み木のように積まれています。ふにゃふにゃでとても全体重を支えてくれません。唯一踵骨だけが、ひとつの大きな塊として体重を支えてくれます。

足底面が全て支持基底面として機能するためには、筋力が必要不可欠です。当然のことながら、足部にはたくさんの筋肉が存在します。これらが足部の小さな骨をつないで、支持基底面として体重を支えてくれるように頑張ってくれています。



しかし筋力が低下すると、足部もすべての骨が支持基底面ではいられなくなります。そして、歩くときに踵だけで体重を支えるようになると、歩幅が狭くなってきます。向かって左側の写真は大きく足を出して力強く歩いていますが、右側の写真は生まれたての赤ん坊のように、ヨチヨチ歩きをしています。これが歩くときの危険なサインの一つです。



また、歩隔（左右の足の幅）が広くなると、これも転倒の危険が高まっているサインの一つです。歩隔を狭くすると、支持基底面が狭くなるため、バランス能力が低下してくると、どうしても歩隔がひろくなります。その結果、歩く時に体を左右に揺らして歩くようになります。

このような不安定を解決するために、杖をつくことがあります。杖をつくこと、3点支持になり、支持基底面が増えることとなります。さて、仮に片方の足が不自由な時、杖はどちらの手に持つ方がいいのでしょうか？ 答えは反対の手になります。片足立ちになると、ヤジロベエのようになるため、体は浮かせた足の方へ倒れそうになります。これを支えるのが杖の役割です。

二本足で歩くことのメリットは、手が自由になり、物を持てるようになることや、目線を高く保てることです。その反対にデメリットとして、重心が高いことから不安定になり、転倒しやすくなります。また、強い筋力と、優れた姿勢調節能力が必要になります。

筋力は大腿四頭筋の出力を体重で除した体重支持指数（weight bearing index；WBI）を全身の代表値として用いています。日常生活を問題なく送るためには84%が必要と言われています。これが40%を切ってしまうと杖をつく方が多くなると報告されています。

支持基底面の変化

- 支持基底面とは・・・地面に接して、人や物を支えている面積のこと
- 重心がこの支持基底面から外れると倒れる

4本足＝杖など 2本足＝歩隔の広い人 歩隔の狭い人

杖をついてみよう！

片足にかかる体重は？
どちらに杖をつきますか？

歩くということ

- <メリット>
 - 手を自由に使える
 - 目線が高くなる
- <デメリット>
 - 不安定
 - 優れたバランス能力が必要
 - 強い力が必要

WBI = 膝伸展筋力 ÷ 9.8 (重力) ÷ 体重 ÷ 下肢長 × 100

40%未満	平地歩行が出来る最低限の筋力。0.4未満では歩行に杖などの補助が必要。
40-60%	歩くことはできるが日常生活動作が困難で痛みを伴う。
60-80%	立ったり、座ったり、軽く走ったり、階段を上り下りすることに支障はない。しかし疲れやすく、スポーツでは思い切った動作ができない上、筋肉痛を伴う。
80-100%	家庭生活を越えて、生活活動やレクリエーションスポーツをこなせる。翌日の活動にも支障はない。ただ、肉体的、精神的疲労が気になり、不安感に悩まされがちである。
100-120%	健康不安がほとんどなくなり、あらゆる活動に積極的に参加できる
120%以上	競技スポーツの選手やトップクラスのスポーツ選手レベル。

しかし、杖をつくとも年をとったように見えて嫌がる方も多いです。それでは、杖以外に体を安定させてくれるものはないのでしょうか？その答えは靴だと思います。靴は杖や筋力の代わりに体を支えてくれる大切なサポーターです。特によく足にフィットした靴を履くと体が安定して転びにくくなります。

靴のロッカー機構（ヒールロッカーやトースプリング）は自転車のタイヤのような役割を果たしています。歩行時に蹴り出された、前方へ向かって体重移動する力を、そのまま効率よく次の一步へ繋ぐために、まるで自転車のタイヤが転がるように回転していきます。しかし、転がりすぎるとかえって転ぶ原因にもなります。

ロッカー機構は歩きやすくなる反面、不安定なので、フラットなソールの方が安定します。そして、靴だけで支えられないときは、支柱を立てて支える必要があります。ここまでくると医療用の装具が必要になります。脳卒中のような重い麻痺がある場合や、骨折後の変形には支柱が必要になります。

このように足部を安定させることで、歩きやすくなると、手が自由になります。そして視線が足元から解放されると、景色を楽しむ余裕が生まれて、出かけてみようと思うきっかけにもなります。さらにこのことがきっかけとなり、介護予防にもつながるかもしれません。そしたら素敵ですね！

転びやすい靴、転びにくい靴



自転車のタイヤとロッカー機構は同じ



症状にあわせて靴と装具(靴)を選択



➢ 先天性や後天性に麻痺があるなど、解剖学的な構造を維持できない場合、装具を使用した靴を勧める

歩行の変化と靴による影響、その可能性とは

- 靴は杖と一緒に！！
- 手が自由になる
- 視線が上がる
- 出かけてみようと思うようになる
- ひょっとしたら介護予防になるのではないかな？

しかし、転倒は屋内の方が多いのも事実です。杖や靴で守られている屋外の方が、かえって安全といえるのかもしれませんが。屋内はスリッパなどを履くと、かえって引っ掛かり易くなって危険です。転倒予備群かな？と思われたら、迷わず室内でもしっかりサポートしてくれる靴を勧めましょう。

どうしても体力は低下するものです。この低下をいかに食い止めるか、そのためには、ウォーキングなど運動による体力向上と、やりすぎによる痛みの発生リスクを理解する必要があります。右のスライドの右側には、難しそうな言葉が書いてありますが、要するにシーソーです。

痛みを怖がり何もしなければ体力は一気に低下しますし、反対に体力をつけなければ、と、無理をしすぎれば痛みを助長します。その中間で上手にシーソーのバランスがとれていれば、体力が維持、向上されます。あきらめずに上を上をと目指す気力が最後にものをいいます。

〈まとめ〉

「高齢者の転倒リスクとは」～気をつけるべき疾患と歩行のサイン～を2回に渡りお届けさせていただきました。少しは参考になりましたでしょうか？皆さんにお伝えしたかったメッセージは、本文中にもありましたが、靴は杖と一緒にという考え方です。皆さんご存知のとおり、靴にはファッションと身体サポートという二面性があります。元気で若い人ならサポートは必要ないかもしれませんが、お年寄りには特にこの

しかし、転倒は屋内のほうが多い

【道具の工夫】
スリッパやサンダルのような脱げ易いもの、滑りやすいものは避け、かかとのあるものを選ぶようにする。




体力低下と向上のはざま

Finish!!



お疲れ様でした！！

両面を汲み取る皆さんの技術が、これからの日本にとって必要不可欠だと思います。是非お年寄りにも愛されるシューフィッターを目指して頑張ってください。陰ながら応援しております。最後までお読みいただき、ありがとうございました。



豊岡 毅 (とよおか たけし)
西川整形外科 リハビリテーション部 副部長
理学療法士
1997年 青山学院大学 経済学部 卒業
2001年 東京衛生学園専門学校 理学療法学科 卒業
同年 医療法人社団健陽会 西川整形外科 入職

工場見学バスツアー

2015年6月24日(水) 栃木県にある栃木レザー(株)と(株)カネコを訪問。参加総数43名。

栃木レザーは靴の革底や高級バッグなどで使用されるタンニン鞣し革専門の日本を代表するタンナーであり、カネコはヒールをはじめ靴型(ラスト)・中底・ヒールの金型まで製造する靴の総合部品メーカーです。仕事にも関わらず、我々を受け入れてくださった栃木レザー、カネコの皆様に心よりお礼申し上げます。

当日は朝8時に浅草FHA事務所前集合といった早いスケジュールでしたが全員揃って定刻通り出発。今回も募集開始後すぐ定員が埋まってしまう程で、毎回大人気の工場見学バスツアーでした。

少しでも工場の雰囲気や伝わるように写真を中心にご紹介いたします。

栃木レザー株式会社

(代表取締役社長：山本 昌邦)

〒328-0033 栃木県栃木市城内町2丁目1番4号

TEL：0282-24-0666 FAX：0282-22-7377

プライマリーテキスト

「革のできるまで工程図」も参考にしてください。



ビット槽やドラムがある鞣し工場。



原皮の裏にはまだ毛が！生々しい…



乾燥、仕上げ、検品はこちらの棟で。



大きなドラムの中に原皮を入れて水洗い。
このドラムが回転します。凄い迫力！



原皮の状態での納入。強烈な臭い。



牛皮は大きいので半分に切って加工しやすく。



石灰漬けのピット槽で脱毛。



ピット槽は濃度が5段階に分かれ
ローラーを使って順番に移していく。



ローラーに挟み込んで肉面に付着した
不要な皮下組織、肉塊、脂肪や汚れを落とす。



ドラムの中で皮の中に残る石灰を取り除く。



タンニン鞣しのピット槽、約160もある。
この規模を誇るのは国内で唯一ここだけ！



ピット槽は4段階の濃度に分けられクレーンに吊られ、薄い→濃い
の順番に漬けていく。通常で約20日間。長いと8カ月漬けることも！



タンニン溶解液の槽。使用するタンニンは
高品質のブラジル産ミモザ。



鞣(なめ)されて「革」になる工程。まだ湿っている。



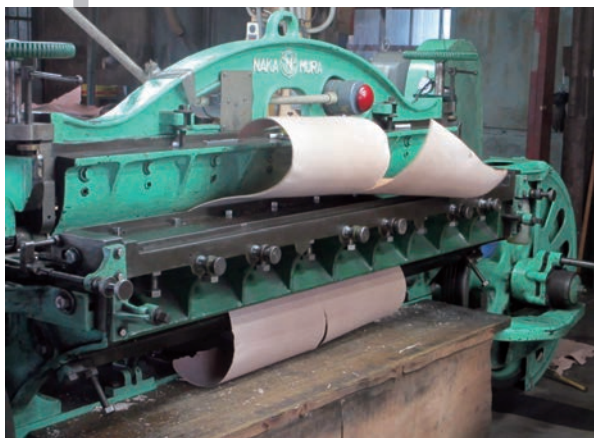
吊るして乾燥。男性が軽々と持ち上げているが重さは1枚30kg！



普通の扇風機(大きいですが)で乾燥。ちょっと親近感がわきました。



場所を移してまた乾燥。ただ乾燥といっても厚み、性質、天候などによって期間を変える必要がありプロの感覚で頃合いを見極める。



革の厚みを整えるために漉(す)く。



伸びにくい革は重さ30kgのハンドセッターで伸ばす。



仕上げ塗装は今でも機械を使わず1枚1枚丁寧にスプレーガンで色付け。きめ細やかな作業のために担当は女性が多い。



革は面積で価格が決まる。値段の単位はデシ(1デシは10cm×10cm)で計算。光電式の計量器にかけ、革の面積を測る。



排水は浄化してから川に戻す。

株式会社カネコ

(代表取締役社長：金子 重雄)

栃木県佐野市戸奈良町 175 TEL.0283-62-2233



とても綺麗で清潔感に溢れた本社工場



最初に金子社長からごあいさつを頂きました。「絶対に折れないヒールを作る。」という力強いお言葉が印象的でした。

〈ヒール製造工程〉



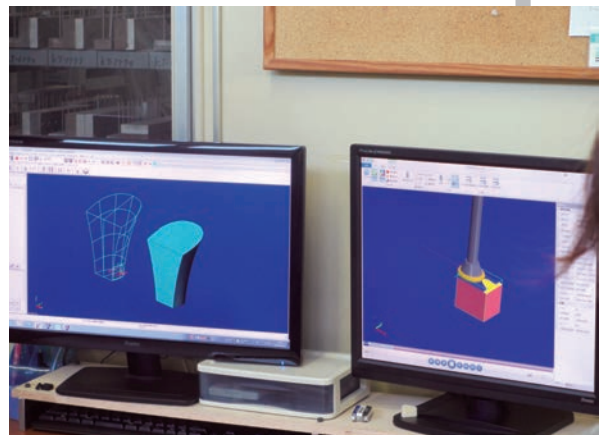
「ヒール企画課」ここでは技能を駆使して職人が設計。



メーカーのモデルラストに合わせて一つずつ作成。



ヒールサンプルのストック。棚にぎっしり！



ヒールCAD / CAM システムで管理されている。



ヒールの金型モデル。



膨大な量のヒール金型のストック。



ヒールを作る機械。1分くらいで1個製造。



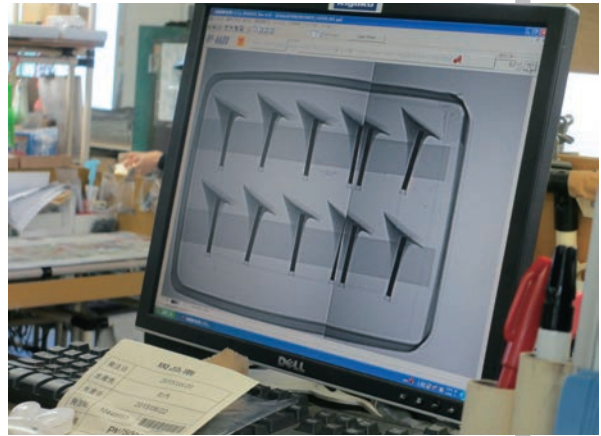
出来たてのヒールはアツアツです！



出来上がったヒールはすぐに水に入れて冷やされます。



ヒールは工程ごとに全数検品。



ほんのわずかな傷や気泡でもアウト！



機械を通した後に再度、人間の目でチェック。
徹底した品質管理！



写真では全く（実際に見てもほとんど）分らないがヒールの真ん中にうすらと線が…これだけで不良品！



わずかな誤差さえも見逃さない。
100分の1mm単位で調整が出来るそうです。



ヒール疲労試験器
2万回叩いて折れなければOK。

ヒール衝撃試験器
8ジュール以上でOK。



青カゴの中には全て靴型が入っています。圧巻！



ヒールを品番ごとに在庫管理している自動倉庫。



靴型もコンピューター制御で自動作成。
高速回転して削られます。

〈靴型製造工程〉



靴型のマスターモデル（木製）もコンピューター制御で自動作成される。



でも最後は人間の手で微調整。



靴型の元となるプラスチックのブロックを成形する機械。

〈参加者アンケートで多かった意見〉

「栃木レザー」

- めったに見る事の出来ないタンニン鞣しの工程が見られてよかった。
- 実際に見て触れる事によって鞣しに対する理解が深まった。

「カネコ」

- 品質に対するこだわりが想像以上で素晴らしいと思った。
- 製造の工程を間近で詳しく見ることができて良かった。

「昼食」

- タンナー見学後のステーキは辛かった…

第 18 回定時総会概要報告

平成 27 年 5 月 26 日（火）蔵前、皮革年金会館 4 階大会議室において第 18 回定時総会を開催。神部俊平専務理事が司会進行、詳細報告をつとめ議案審議が行われた。

総会定足数の確認

会員総数	43 社		
出席会員	17 社		
委任状提出	21 社	合計	38 社

【議案審議】

第 1 号議案	平成 26 年度事業報告 I 概要 II 会員の現状 III 各部会事業報告	採決 承認
第 2 号議案	平成 26 年度事業報告 同、会計監査報告 (監事) 富田 常治 長谷川 雅洋	採決 承認
第 3 号議案	平成 27 年度事業計画 (案)	採決 承認
第 4 号議案	平成 27 年度収支予算 (案)	採決 承認
第 5 号議案	任期満了に伴う役員改選の件 就任 常任理事 亀山 典央 就任 常任理事 大丸 孝之 就任 理事 植田 宗紀	採決 承認

【報告事項】

- 1) 東京皮革産業厚生年金基金解散に伴う負担金納付は、5 年分割で納付する。
- 2) 東日本大震災義援金を日本赤十字社へ送付する。
- 3) 総会后、シューフィッターストーリーコンテスト表彰式を行う。
- 4) コンテスト表彰式後、別室にて平成 27 年度第 2 回理事会を開催し代表理事選出をする旨報告。

総会后、平成 27 年度第 2 回理事会が開催され任期満了に伴う役員名簿は下記の通りで決定した。

会 長：	印南 淳				
副 会 長：	佐藤 重基				
専務理事：	神部 俊平				
常任理事：	楠本 彩乃	久世 泰雄	亀山 典央	大丸 孝之	
理 事：	岩崎 幸次郎	遠藤 三郎	大澤 重仁	金子 重雄	城戸 巧
	佐宗 秀行	村井 隆	長谷川 智	山田 晋右	植田 宗紀
	宮崎 重行	堀越 俊明			
監 事：	富田 常治	長谷川 雅洋			
顧 問：	後藤 弘吉	矢代 裕夫			

平成 27 年度各部会事業計画

1. シューフィッター部会

事業目的：事業理念に基づき事業計画並びに行動計画を順守し、シューフィッターの養成と共に人材育成、能力開発に努める。

- 1) シューフィッター養成講座
 - (1) プライマリーコース（初級）…432名（72名×6回）
東京（4回）：4月、7月、10月、1月
神戸（1回）：6月
大阪（1回）：2月
 - (2) バチャラーコース（上級）…20名（1年コース）
 - (3) シニア専門コース…30名（9月17日（木）、18日（金））
 - (4) 幼児子ども専門コース…20名（12月2日（水）、3日（木））
- 2) 日本皮革産業連合会、平成27年度足サイズ計測調査事業・計測事業に協力
成人データ（19歳以上）の更新のため、足サイズ計測事業を当会実技指導員が中心に行う。

2. シューフィッタークラブ部会

事業目的：事業理念に基づきクラブ会員相互のコミュニケーションを深め、会員のスキルアップを目指し、補習講座の開講により広義な知識を修得する。

- 1) 補習講座開講
 - ・東日本支部 年4回：6月（栃木） 9月（仙台） 11月（東京） 2月（東京）
 - ・西日本支部 年4回：5月（大阪） 8月（大阪） 11月（福岡） 2月（大阪）
- 2) 第29回日本靴医学会学術集会に参加
期日：平成27年11月21日（土）、22日（日） 会場：ウインクあいち（名古屋）

3. 情報交流部会

事業目的：事業理念に基づき会員相互の交流を深め、業界及び消費者に適正な情報発信をもって効果的な活動を実施する。

- 1) ホームページの充実
- 2) 情報誌「トレデュニオン」発行
年3回：49号（7月末）、50号（11月末）、51号（3月末）
- 3) 消費者啓発イベント開催
 - ・各地自治体からの消費者学習イベントに合わせ「靴の履き方選び方」講演会の実施。
 - ・幼稚園、学校に働きかけ、保護者対象の「靴の履き方選び方」講演会の実施。
 - ・FHA会員各社の要請に合わせ、FHA事業理念を基に消費者啓蒙に役立つ、社員教育の一部をアシストする。
 - ・小冊子「はだし気分で歩こう」の配布。
- 4) FHA会員向け講演会の開催（随時）

4. 新規事業部会

事業目的：事業理念に基づき新規事業に関わる企画立案の作成及び促進を行う。

- 1) マスター開設分科会、平成29年度開講に向け、今年度はカリキュラムの方向性、講師選定
- 2) 平成27年度第12回日本整形靴技術協会学術大会（IVO）大阪大会を後援



● SHOE FITTER Story Contest 入賞者 5名

上段右から：印南 淳 会長 佐藤重基 副会長
 下段右から：
 厚東 佳樹 (長岡市)
 角 智はる (一畑百貨店)
 佐野 生子 (シューマート・アミー穂高店)
 磯 奈津子 (オーマンアジル)
 管野 博久 (かんのシューズ)



2015年5月26日、蔵前「皮革年金会館大会議室」においてFHA 定時総会終了後、書籍「足と靴と健康を考えるシューフィッターの小さな奇跡」発刊に伴い、シューフィッターストーリーコンテスト入賞者5名の表彰が行われました。靴業界各紙、織研新聞社の取材を受けました。本の概要は「トレデュニオン48号」で紹介していますのでご覧ください。また全国書店で販売していますがFHA、SFC 会員は10%引きで販売していますのでお申込みください。

● 2014年度 (第14回)「バチェラーコース」認定者一覧 (2015年5月認定)



氏名	会社名
児島 諒	アシックス商事
金 學弘	シューマート 飯田インター店
細谷 創	HARU shoe studio
田中 美登里	文化服装学院
森 麻子	阪急阪神百貨店 阪神本店
坂井 順子	そごう・西武 千葉店
柴山 尚子	リアット茅ヶ崎店
播野 功樹	ニューバランスアスレックス

氏名	会社名
西賀 さやか	あべのハルカス近鉄本店
荻野 恵美	シューズギャラリーコヤナギ
塚田 英美子	コロンプス
青木 陽忠	シューズ&バッグAOKI
萩原 正人	ハギハラ遊歩堂
秋本 純子	高島屋 日本橋店
小川 小百合	そごう・西武 千葉店
岡田 有代	そごう・西武 西武池袋本店

氏名	会社名
藤川 翔太	SHOES STAGE
原 和彦	そごう・西武 所ごう広島店
松本 博樹	そごう・西武 西武池袋本店
松本 美紀	
原 芳久	東急百貨店 本店
寺澤 清之	そごう・西武 春日部店

● 2015年度 (第4回)「シニア専門コース」開催

期日：2015年9月17日(木)、18日(金) 2日間コース(東京) 受講料：66,000円+税 予約受付中

● 2015年度 (第7回)「幼児子ども専門コース」開催

期日：2015年12月2日(水)、3日(木) 2日間コース(東京) 受講料：66,000円+税 予約受付中

● 2016年度 (第16回)「バチェラーコース」開催 (申込み〆切 2016年5月末日)

期日：スクーリング9日間(7月・11月・3月) 1年コース(東京) 受講料：260,000円+税 予約受付中

※シューフィッターの皆様：各地開催の本人参加による足や靴に関わる講演会、計測会等の情報は事前にFHA事務局宛ご連絡ください。HP「シューフィッター活動報告」に掲載し、広く全国の消費者にもお伝えします。
 ※お願い：勤務先や自宅住所等の変更が生じた時は必ず事務局までメール、FAXまたは電話でご連絡願います。ご連絡が無い場合はトレデュニオンや補習講座の案内をお届けできなくなる事があります。

● FHA/SFC 会員パスワードをご利用ください。 ID : fha パスワード : kmhs7646
 表紙デザイン：株式会社ジャルフィック 池田 正晴

○・・・トレデュニオン・・・○

“トレデュニオン”は、フランス語です。英語ではHyphen (ハイフン)にあたります。FHA事業理念をもとにFHA会員、SF、SFC会員の相互を密接に結ぶ情報誌という意味で命名しました。

VOL.49 (通算84号) 2015年8月1日発行
 〈編集・発行〉一般社団法人 足と靴と健康協議会
 〒111-0032 東京都台東区浅草 7-1-9
 Tel. (03) 3874-7646 Fax. (03) 3875-0880
 Email fha@tokyo.email.ne.jp URL http://www.fha.gr.jp/
 禁・転載複製